

# 積算気温による成熟期予測

(成熟積算気温 あきたこまち 950℃ コシヒカリ 1000℃ 風さやか 1100℃)

令和7年 9月1日 現在

**※収穫開始時期＝成熟期のおよそ5日前＝帯緑色籾歩合10%の頃**

## 【信濃町】(アメダス観測地点信濃町 標高685m のデータを利用)

9月1日 まで実測値、以降平年並み推移モデル (今後平年並みに経過する場合)

出穂期		7月20日	7月25日	7月28日	8月1日	8月5日	8月10日	8月15日	8月20日
信濃町	あきたこまち	8月29日	9月2日	9月6日	9月11日	9月17日	9月23日	9月30日	10月8日
	コシヒカリ	8月30日	9月5日	9月8日	9月14日	9月19日	9月26日	10月4日	10月12日

9月1日 まで実測値、以降高温推移モデル(平年+2℃) (今後暑く経過する場合)

出穂期		7月20日	7月25日	7月28日	8月1日	8月5日	8月10日	8月15日	8月20日
信濃町	あきたこまち	8月28日	9月2日	9月5日	9月10日	9月15日	9月21日	9月27日	10月4日
	コシヒカリ	8月30日	9月4日	9月8日	9月12日	9月17日	9月23日	9月30日	10月7日

## 【長野市】(アメダス観測地点長野 標高418m のデータを利用)

9月1日 まで実測値、以降平年並み推移モデル (今後平年並みに経過する場合)

出穂期		7月20日	7月25日	7月28日	8月1日	8月5日	8月10日	8月15日	8月20日	8月25日
長野市	あきたこまち	8月23日	8月28日	8月31日	9月5日	9月10日	9月17日	9月23日	9月30日	10月8日
	コシヒカリ	8月25日	8月30日	9月3日	9月8日	9月13日	9月19日	9月25日	10月3日	10月11日
	風さやか	8月29日	9月3日	9月7日	9月12日	9月17日	9月24日	10月1日	10月9日	10月18日

9月1日 まで実測値、以降高温推移モデル(平年+2℃) (今後暑く経過する場合)

出穂期		7月20日	7月25日	7月28日	8月1日	8月5日	8月10日	8月15日	8月20日	8月25日
長野市	あきたこまち	8月23日	8月28日	8月31日	9月5日	9月10日	9月15日	9月21日	9月27日	10月4日
	コシヒカリ	8月25日	8月30日	9月2日	9月7日	9月12日	9月17日	9月23日	9月30日	10月7日
	風さやか	8月29日	9月3日	9月6日	9月11日	9月16日	9月22日	9月28日	10月5日	10月12日

## 【千曲市等】(アメダス観測地点上田 標高502m のデータを利用)

9月1日 まで実測値、以降平年並み推移モデル (今後平年並みに経過する場合)

出穂期		7月20日	7月25日	7月28日	8月1日	8月5日	8月10日	8月15日	8月20日	8月25日
千曲市等	あきたこまち	8月24日	8月28日	8月31日	9月5日	9月10日	9月17日	9月23日	10月1日	10月9日
	コシヒカリ	8月25日	8月30日	9月3日	9月7日	9月13日	9月19日	9月26日	10月4日	10月13日
	風さやか	8月29日	9月3日	9月7日	9月12日	9月17日	9月24日	10月2日	10月10日	10月20日

9月1日 まで実測値、以降高温推移モデル(平年+2℃) (今後暑く経過する場合)

出穂期		7月20日	7月25日	7月28日	8月1日	8月5日	8月10日	8月15日	8月20日	8月25日
千曲市等	あきたこまち	8月24日	8月28日	8月31日	9月5日	9月10日	9月15日	9月21日	9月28日	10月5日
	コシヒカリ	8月25日	8月30日	9月2日	9月7日	9月12日	9月17日	9月23日	9月30日	10月8日
	風さやか	8月29日	9月3日	9月6日	9月11日	9月16日	9月22日	9月28日	10月6日	10月14日

※成熟期予測は、出穂後の毎日の平均気温を足しあげ、品種の特性から、おおよその成熟期を予測するものです。

※ほ場の環境によって左右される値ですので、あくまでも参考として扱ってください。

高温の影響により、収穫が早まっています。今後も引き続き高温で推移する予報となっているため、早めの収穫段取りを行いましょう。

- 白未熟粒や胴割粒等の高温障害の危険が高まっています。ほ場の過乾燥と刈り遅れの防止が重要です。
- 高温年には、葉色が濃いまま籾が成熟します。登熟籾歩合が10%になったら収穫を開始しましょう。
- 高温年には、籾の色よりも早く乾燥が進みます。籾水分が22%を下回らないように収穫を終えましょう。
- 収穫期から逆算して落水日を決定しましょう。乾きやすい田で早くに水を落とすと、胴割粒の多発が懸念されるため、収穫作業に支障が出ない範囲で落水を遅らせます。
- 落水後に晴天が続く場合は、走水を行いましょう。
- 高温により、葉が青いまま籾が先に熟す傾向があります。収穫適期は葉色ではなく、籾の色で判断しましょう。